

URL [https:// kenren.miyagi.coop/](https://kenren.miyagi.coop/)

県連速報

- 発信元
宮城県生活協同組合連合会
 - 責任者 石川 宣子
 - TEL 022-276-5162
 - FAX 022-276-5160
 - 2025.9.24
- 第723号
(2025年度：12号)

●9月19日（金）、『消費者のくらしと権利を守る第46回宮城県生協組合員集会』を、東京エレクトロンホール宮城大ホールを会場にオンライン併用で開催しました。

9月19日（金）、「消費者のくらしと権利を守る第46回宮城県生協組合員集会 ～ここから始まる平和な未来～」を、東京エレクトロンホール宮城大ホールを会場にオンライン併用で開催しました。来場者420人、みやぎ生協の組合員集会室と松島医療生協の5か所のサテライト会場および個人宅から約95人の視聴、あわせて約515人の参加がありました。司会を、生活協同組合あいコープみやぎ理事の石川佳名子さんが行いました。

冬木勝仁会長理事から主催者挨拶があり、「2025年は戦後・被爆80年の節目の年であり、国連が定める2回目の国際協同組合年である。『ここから始まる平和な未来』という願いをサブタイトルとした。」との報告がありました。平和で持続可能な社会の実現という願いを共有し、消費者のくらしをめぐる問題について広く市民に伝えるため、昨年引き続き、アピール行進を行うことを話されました。



来賓挨拶(上から)
石垣のりこ議員
いわぶち友議員

ご来賓として、立憲民主党宮城県総支部連合会副代表で参議院議員の石垣のりこ様、日本共産党宮城県委員会の参議院議員のいわぶち友様からご挨拶いただきました。自由民主党宮城県支部連合会会長で衆議院議員の小野寺五典様、公明党宮城県本部代表で衆議院議員の庄子賢一様は公務の関係でご欠席となり、頂戴したメッセージを紹介しました。

次に、2025年は国連が定めた2回目の「国際協同組合年」で、国際協同組合同盟のアリエル・グアルコ会長が7月の世界協同組合デーにあたり、アジア太平洋の国々に向けて出されたビデオメッセージを紹介しました。続いて、リレーメッセージとして、「生産者の立場から消費者に知って欲しいこと、考えて欲しいこと」と題して、全国農業協同組合連合会宮城県本部米穀部部長の佐々木利幸さんから、生産者の高齢化や後継者不足と



冬木勝仁会長理事の開会挨拶



リレーメッセージ演者(左から)
佐々木利幸さん、佐藤岳彦さん



リレーメッセージ演者(左から)
荒井優さんと和島咲良さん

いう現実問題と米の作付けの減少という農業が直面する危機についてお話がありました。「生きづらさに寄り添うために私たちができること」と題して、特定非営利活動法人ワンファミリー仙台地域福祉課長佐藤岳彦さんから、誰もが予期せぬできごとをきっかけに困難な状況に陥る可能性があること、時代に即した対応が必要となるというお話がありました。「社会的課題、略して社的（しゃてき）～今、大学生が社会問題を考え取り組む理由～」と題して、全国大学生協連東北ブロック学生委員の荒井優さんと和島咲良さんから、自分たちの未来を考えて作るために大学生と社会との関わりを深める活動を行っていることについてお話がありました。



平澤真悟さんと小平圭亮さんの演奏

さらに、みやぎ生活協同組合理事の辻村優子さんがナレーションを行い、各会員生協の活動の一部を写真とともに紹介しました。

その後、尺八演奏者の平澤真悟さんとピアニストの小平圭亮さんのお二人によるコンサート「和洋響鳴～巡る音楽、かさなる時～」が行われ、あさはふる、荒城の月、浄夜など全5曲の演奏があり、和楽器の音色に癒しの時間となりました。

最後に、実行委員長でみやぎ生活協同組合理事の菊地由香里さんから、集会決議（後掲）が提案され、満場の拍手で採択されました。会場で、全国大学生協連東北ブロック学生委員の荒井優さんと和島咲良さんの若いお二人の音頭でコールを行った後、さわやかな秋晴れのなか仙都会館まで約200人の組合員でアピール行進しました。

第47回組合員集会は、2026年9月30日（水）にエレクトロンホール宮城大ホールで10時から行われます。来年もよろしくお願い致します。



会員生協の活動紹介をする辻村さん



集会決議の提案をする菊地実行委員長



コールの音頭を取る学生委員のお二人



アピール行進の様子